

将来を見据えたブドウ栽培で 明るい未来へ



▲作業性を確保するため、枝の高さはやや低めに設定。木炭やパーク堆肥を活用するなど、土づくりにもこだわります。

熱い思いはピカイチ!
期待に沿えるようがんばります!!

農業高等学校と農業大学校を経て、甲良町の（農）サンファーム法養寺へ平成29年に社員として入社しました。将来的に法人の後継を見据える中で、「農業経営を肌で感じてみてはどうか」と提案いただき、令和2年から園芸部門の設備を借りるなどして「中山農園」を新たに経営させてもらえることになりました。現在は「シャインマスカット」や「竜宮」「藤稔」「あづましづく」「クイーン・ナナ」の計5品種のブドウを中心に栽培し、8月上旬からJA直売所「やさいの里」一番館などに出荷しています。水稻や小麦、大豆の生産にも関わりながらの栽培は大変ですが、自分で納得いくものができた時、そしておいしく食べてもうえた時の笑顔が大きなやりがいです。

法人の理事として 園芸部門を中心活躍

成功も失敗も、
すべてを糧にしていく

自分の中では忘れられないのが、令和3年産「シャインマスカット」の出来栄えが大変良かつた経験です。ブドウ栽培を始めて間もない自分が、多くの業界関係者から褒められるほど良いものを作れた感動と驚きは、今でも鮮明に覚えています。ところが次年産は粒が小さい傾向で、納得できる品質とは言えないものでした。いかに毎年安定して高い品質を維持することが難しいか、思い知らされました。ブドウの樹は、収穫を終えると引っ越し抜いてしまう野菜とは違い、20年以上適切に管理することが求められます。こうした経験があつたからこそ、樹を健全な状態に保つための知識を更に深めることができます。そうした経験があつたからこそ、樹を健全に育てることが大切なのだと視野を広げることができたと思っています。



▲生育中の「シャインマスカット」。縦に入るお尻のような割れ目は、これから更に果粒が肥大するサインです。

中山農園
オフィシャル
ウェブサイト

日々の生育情報
をブログで掲載
しています。



スマホのカメラや
QRコードリーダーで
読み取ってください!

のうじくみあいほうじん	ほようじりじ
なかやまのうえん	
中山農園	
なかやまりょうすけ	
中山凌輔さん(27)	
主な生産品目(中山農園)	
品目名	規模
ブドウ	25a
ミニトマト	5a

(令和5年度)

